

平成23年度第3回 落合第一地区協議会の概要

| | |
|------|---|
| 日 時 | 平成23年6月7日(火) 午後7時00分～8時40分 |
| 場 所 | 落合第一地域センター3階 集会室 |
| 出席者 | 委 員 27名 特別出張所: 村山所長、佐藤副所長、新川主査、関口まちづくり活動支援員 |
| 協議内容 | 1. 代表挨拶 2. 議 事 1) PTからの報告 2) 平成23年度事業計画・予算について 3) その他の課題について 4) その他 |
| 配付資料 | ①平成23年度第2回「広報PT」会議概要 ②平成23年度第2回「ふるさと落合PT」会議概要 ③平成23年度第2回「安全・安心PTR」会議概要 ④平成23年度 地区協議会まちづくり活動計画書(審査会用) |

1 代表挨拶

- ・ 地区協として、何か被災地への支援が出来ないか、長いスパンで考えていきたい。

2 議 事

1) 各PTからの報告

◇ 広報PT (配付資料①参照)

- ・ 23年度事業は、みどりの風特集号の発行、みどりの風かわら版の発行、地区協フェスタの開催、講演会の開催等を考えている。
- ・ 地区協フェスタでは、昨年、一昨年と実施をしている沼田市の野菜販売の実施については、その必要性を全体会で討議する必要があるが、沼田市も東日本大震災の被災地であるので、PTとしては実施したいと考えている。
- ・ 災害時の情報の共有を図るため、災害時の避難場所等について記載したかわら版を発行したい。

◇ ふるさと落合PT (配付資料②参照)

【23年度スケジュール】

- ・ まち歩きマップの作成・・・平成24年1月に印刷予定・2月に配布。
- ・ まち歩きイベントの実施・・・平成23年12月～企画、24年3月実施。
- ・ 郵便局への写真展示・・・平成23年9月、平成24年3月。
- ・ 落合の歴史を知る方のお話の記録と公開・・・平成23年秋頃。
- ・ 七曲り坂の景観維持・・・現状の把握、認識から始める。
- ・ 外部組織との連携・情報提供・・・地区協フェスタでの連携を考えている。

【事業内容の詳細】

- ・ 「落合の歴史を知る方のお話の記録と公開」は、前回語り部になってくださった方々よりも若い年代の記録を考えている。
- ・ 「七曲り坂の景観維持」は、野鳥の森、七曲りおよび薬王院界隈、おとめ山公園につながる「落合崖線」の緑を、少なくとも維持したいという取り組み。
- ・ 外部組織との連携では、地区協フェスタで歴博から資料提供してもらおう等の可能性を追求していく。

◇ 安全・安心PT（配付資料③参照）

【無灯火防止啓発キャンペーン】

- ・ 5/26に、新目白通りでキャンペーンを実施した時に、節電の為とはいえ、道路が非常に暗いと感じた。明るくしてもらえよう、地区協として要望を出したい。
- ・ 次回以降のキャンペーンの際に、無灯火の自転車にライトを配布したいと考えているが、配布を予定しているライトが、前照灯の補助灯として使うものなので、配布する際には、ライトにその旨を明記して配布する。試験的に100個購入したい。
- ・ 次回のキャンペーンは、7/26午後7時～。予備日は7/28。

【小学校の自転車教室】

- ・ 例年通り、小学校の自転車教室のお手伝いをする。当日は、地区協タオルと、ホイッスルキーホルダーを参加者に配布する。PT委員以外の方にもご協力いただきたい。
落一小・・・6/18(土) 午前10時～
落二小・・・7/6(水) 午後2時～ ※落二小は見学のみ
落四小・・・7/2(土) 午後2時30分～

■ 質問1

ライトをつけていない自転車を全て止めて渡すというやり方か。

● 回答1

渡すのではなく、こちらで取り付ける。

■ 質問2

取り付けるのは、ライトが設置されていない自転車や、壊れてしまっただけでつかなくなっている自転車のみということでしょうか。

● 回答2

その通り

■ 質問3

ただでライトがもらえるという事で、次のキャンペーンの時にわざと無灯火で来て、ライトをもらって帰るといった人や、こちらの意図と反して、前照灯と認められているものをつけず、地区協が配布した補助灯だけを使って走行する人もいないか。

● 回答3

無灯火防止キャンペーンをやっていて感じるのは、無灯火の自転車はまず逃げようとする。PTとしては、逆に何台の自転車を止める事が出来るかと心配しているので、わざと無灯火でライトをもらいに来るといった人はいないと思う。

△ 意見1

落一地区協として、ライトを設置しない自転車を販売する事は望ましくないという事を自転車商協同組に提案した方が良くと思う。

< 決定事項 >

新目白通りを明るくして欲しいという旨の要望書を、第三建設事務所に提出する。文書は、安全・安心PTで作成する。また、無灯火防止啓発キャンペーンで、ライトを配布する事に決定。

◇ みどり・環境PT（配付資料④参照）

- ・ 6/5に「緑のカーテンで節電の夏に挑戦」を開催した。
- ・ 今年度の事業計画としては、『緑の実態調査「2011年」を基にした報告会の実施』、『佐々木洋氏(ナチュラリスト)を講師に、おとめ山での自然勉強会(子ども向け)』、『地域の緑の団体とのシンポジウムを開催し、みどり・環境PTの告知と親睦をはかる』等の発案があった。

2) 平成23年度事業計画・予算について（配付資料⑤参照）

◎ 事務局から

事業番号1～3までは、前回の全体会で承認を頂いたので、審査会にかけ、既に補助金の交付を受けている。本日は、事業番号4～5について討議していただきたい。なお、総額は200万円以内におさまっている。

◎ 広報PT（配付資料⑤ P4参照）

【事業計画】

- ・ みどりの風特集号の発行 フルカラー4P構成で、4000部を3回発行予定。
- ・ みどりの風かわら版の発行
3000部×2回、8000部×1回、その他、PTから発行依頼があった時に発行する。
- ・ 地区協フェスタの開催
- ・ 講演会の開催

【事業の詳細】

- ・ みどりの風かわら版
内容としては、災害時避難に関わるものと、石口委員宅のゴーヤの成長記録と、地区協フェスタの告知チラシとする。地区協フェスタの告知チラシは、3000部を通常配布、5000部を新聞折り込みを使って配布する。
- ・ 講演会の開催
地域の不安を解消するための講演会として、放射能に関する講演会を開催したい。

【事業予算】・・・763,600円

- ・ 年に3回のみどりの風特集号の発行・・・¥340,200
- ・ みどりの風かわら版の発行・・・¥56,400
- ・ 地区協フェスタの開催・・・¥300,000
- ・ 地域団体との連携事業・・・¥50,000
- ・ 事務用品の購入・・・¥17,000

◎ みどり・環境PT（配付資料⑤ P5参照）

【事業計画】

- ・ 区民ふれあいの森計画の検討
- ・ 花植え隊などへのサポート
- ・ 空中緑花の推進
- ・ みどり又は都市の生物に関する講演会

【事業予算】・・・70,000円

- ・ 講師謝礼・・・@12,000円×3時間＝36,000円
- ・ 消耗品費、配布材料・・・24,000円
- ・ 印刷費、事務用品、写真プリント代・・・10,000円

<決定事項>

事業案、事業予算について承認された。

3) その他の課題について

特になし

4) その他

◎ PTへの所属について

- ・ 各委員には、既にPTに所属していただいているが、新年度になったので、改めて各委員の所属PTを確認したい。各PTの今年度事業計画を聞いて、新たなPTに入ってもよいし、これまで複数のPTに所属している人で、全てのPT会議への参加が難しくなったなど、不都合がある委員は、一つのPTに絞るなどの調整をして頂きたい。
※各委員の所属については別紙参照

■ 質問1

必ず、どこかのPTには所属しなければいけないのか。

● 回答1

所属するのが当然という認識のもと、所属していただいていると思う。

△ 意見1

PTに入らなければいけないというのはどうかと思う。人によっては、物理的にPT会議に出席する事が難しい人もいると思う。

△ 意見2

全体会を第一に考えるというところから、PT活動を軸に活動していくというように考え方が変わってきていると思う。PT会議を1ヶ月に1度の開催として、全体会を2ヶ月に1度の開催にしてはどうか。

△ 意見3

全体会を月に1度開催するという事も、PTには必ず所属しなければならないという事も規約には記載されていない。PTには必ずしも入らなくて良いのではないかと、という意見ももつともだと思うが、そうすると、PT活動が細くなってしまうという懸念もある。どのようにバランスをとっていか検討していきたい。

△ 意見4

地区協にどれだけ貢献しようかという気持ちが出席率に出てくるのだと思う。各委員の自覚の問題だと思うので、PTへの加入を強制する必要はないと思う。

△ 意見5

毎回の全体会の中で、十分に自分の考えを発言する時間がなく終わっている人が多いと思う。各PTの提案をもっとコンパクトにし、その提案について、そのPTに入っていない人も十分に話し合えるというような会議の運び方にしたら、どのPTに所属するかで悩む事も無いのではないかと。

◎ 自治基本条例勉強会について

自治基本条例逐条解説に基づいて勉強していこうと思っているが、細かくは、当日、どのように勉強会を進めていったらよいかという事も含め全員で話し合う。

△ 意見1

和田委員がこれまで自治基本条例の事をやってきたので、和田委員の意見を聞きたい。

・ 和田委員より

役員会で検討し、役員会で決定したことのなので、21日の勉強会には受講生として参加したいと思っている。

先ほど、PTについて様々な意見が出たが、これが自治の始まりであると感じた。条例の勉強会といっても、条例をどう解釈するかという事よりも、自治とは何か、そしてその集合体である、地区協とは何をするとするところなのかを理解しなければならないと思う。4/1から施行さ

れている自治基本条例の中に、「地域自治組織を設置することが出来る」と謳われてはいるが、現在の地区協では、その自治組織にはなり得ないという合意はほぼ出来上がっている。だったらどうすればいいのか、というところを考えていきたい。

◎ その他、発言したい事

△ 委員

全体会の開催は2ヶ月に1度で良いのではないかと、という意見が出たが、「決定は全体会」というのが落一のやり方なので、全体会は月に1度が良いと思う。

△ 委員

落合は、坂が多い町なので、高齢者にとっては危険な場所もある。ガードレールが無い坂には、手すりの役割ともなる、ガードレールのようなものを設置できないか。

△ 委員

- ・ 地区協フェスタについて、開催するのであれば早めに討議を始めるべき。昨年、一昨年と野菜販売がメインになっていたが、野菜販売は添え物で、地区協活動の報告、PRがメインになるようにするべき。
- ・ 災害時の為の情報を共有できるように、全体会で活動していくべき。

◎ 聖母坂の無電柱化について

聖母坂の無電柱化については、現在、トランスを置く場所として近隣の協力が得られず、暗礁にのり上げているとの事。今年度は、警察に設計を提出し、許可を得る事を予定しているが、聖母坂は歩道が狭いので、それも難しいだろうとの事。今後どのように進んで行くかは分からないが、現在は足踏み状態。区の担当課が説明に来てから2年ほど経過しているが、全く進んでいない状況。

△ 意見1

震災時の事を考えても、無電柱化は引き続き進めていかなければならない課題だと思う。

◎ 現中央図書館について（事務局）

現在の中央図書館は老朽化の為、耐震補強が困難。取り壊しが決定。仮移転先は、旧戸山中学校の跡地。耐震上の緊急性を優先し、仮移転先を先に行う事になった。新中央図書館の建築スケジュールは改めて検討する。併設している、公園事務所と工事事務所については、あり方を検討したうえで移転先を検討するという事になっている。

現中央図書館の跡地は、地域図書館を含んだ複合施設として施設活用を検討するという方針が出された。具体的なスケジュールはこれから詰めていく。